



No.86 日本の黄金律・・モンゴルで思ったこと



日本への留学生たちとのキャンプファイア(22.7 ウンドルシレット)

もし人間社会に一つだけルールを決めるとしたらどんなルールにしますか…
聖書の世界でも殺すなけれ、姦淫するなけれ、盗むなけれ(十戒)…と10のルールは必要でしたし、世の中のきまりごとなど数えきれません。

しかし人類の叡智を結集して、一つだけ社会を秩序づける根本原理を挙げるとしたら何か…

「なんじら人に為られんと思ふごとく人にも然せよ。」(ルカ6-31)
「己の欲せざるところ、他に施すことなけれ」(論語卷第八衛靈公第十五 二十三)
いわゆる黄金律(ゴールデンルール)と呼ばれる聖人の言葉ですね。
このルールを皆がきちんと守れば殺人も窃盗もない社会秩序ができるでしょう。
理屈はそうでも世界中で実際にそれを実践している人は多くない感じがします。

ところが日本人の子供のしつけにはこれとほとんど同じ内容の強力な黄金律があります。それは
「人に迷惑をかけない」！



谷口博文の政策イノベーション

Date :2022年8月20日

これは強制されなくてもマナーやモラルとして現に日本人の行動規律となっています。日本に留学したことのあるモンゴルの人は強くそう感じたそうです。ただ外国人には日本人が何を迷惑と考えているかがよくわからない。たとえばモンゴル人は人からものを頼まれたり、相談されたり、親しくなった人が泊まりに来たりしても迷惑とは考えていない。だから平気で人にものを頼むし、友達のうちに泊まりに行ったりもする。もし嫌なら断ればいい。

ところが日本人は迷惑をかけてはいけないと考えて他人にあまり頼みごとをしないし、日本の友人から是非遊びに来てと言われて本当に行こうとしたらすごい迷惑がられるし…

確かに日本では、相手がどう受け止めるかセンサーを張り巡らして迷惑にならないよう神経質に生活している実感があります。しかし逆に外国で生活している時は、率直にやりたいことを言葉で表現しなければ生活できませんでした。欧米であれアジアであれ、自分たちと感じ方の違う人たちの中で生きるとき、日本社会を穏やかに秩序づけているような行動規律を世界に期待するのは難しいかもしれません。